



コート取り当番クラブ

発行責任者・柳 利夫

3月	4月分のコート	青葉B
4月	5月分のコート	萩山A
5月	6月分のコート	萩山B

住所・東村山市萩山町 5-6-26, 301号

編集責任者・黒岩俊雄

☎ 0423-(95)4336

### 第12回運営委員会報告

94.2.6 13:00~16:00 クラブ室

#### 報告事項

柳会長あいさつ

コート掘り返し時(2/14~3/11)ご不便ですが、な、な何て言おうか本井教室も雪などで予定が大幅に変更となっていますが、皆さんのご協力をお願い致します。

#### 技術部報告

1. スクール(115名) 希望者全員受入れ

ジュニア 15名  
最後までガンバレスクール生 { 初心 [前半] 24名 [後半] 19名  
初級 [前半] 30名 [後半] 27名

2. 2/11 中級者スクール実施  
3. 本井スクール 度重なる雪のため順延しましたが、今度は雪の心配は不要、是非皆さん『チャレンジを!』 下記の通り

とき: 3月5日(土) 9:00~15:00  
3月26日(土) 9:00~15:00  
ところ: スポーツセンター体育館(但し3月26日は午前中のみ体育館とし、午後は久米川コートです。)  
受講料: 5,000円(1日のみ2,500円)  
申込み: 2月28日(月)までに各クラブ会長まで、それ以後は藤岡(92-0118)部長に申し込んで下さい。  
『雪の心配はありません。』  
<...コート陣紹介...>

#### 本井 満先生

- 現在・(財)日本テニス協会、選手強化本部・副委員長
- '89'91'92南米ジュニアサーキットの監督
- '84ロス・オリンピック、'88ソウル・オリンピック監督
- '83フェデレーションカップ(スイス) '84フェデレーションカップ(ブラジル) 監督
- 関西学院大学卒 太田芳郎名誉会長にブラジル及びハンガリーのユニバーシアードで監督・指導を受ける。シングルス・銅メダル、ダブルス・銀メダルに輝く。

#### 蝶間林利男先生

- 長年にわたり(財)日本テニス協会の医科学委員長の重責をこなし、選手の身体作りの面での貢献が大きい。今後の選手強化、人材発掘の面で最も重要なセクションになると考えられる。
- 現職・横浜国立大学・教授
- 教育大卒(現筑波大)で、太田先生の後輩
- '82頃より坂井利郎監督率いるテ杯チームのトレーナーとして活躍、多くのトップ選手の指導にあたる。

#### 広報部報告

会員名簿.....は、各クラブの役員と運営委員会のメンバーも左記の一覧表の如く決まりましたので、2月22日に原稿を印刷会社に手配済。住所・電話・役職など訂正がありましたら、黒岩まで(95-4336)

#### 事務局報告

第30回市民大会の申込みは、2月27日と3月6日です。申込み会場は、スポーツセンター2Fのクラブ室で10時~12時(時間厳守)の間受付中。

3月のコート情報			
久米川コート (土) 9:00~17:00	5, 12, 19, 26	★本井教室	
定期練習 (日) 8:00~17:00	6, 13, 20, 27	時注意	
(祝) 8:00~17:00	21(振替)		
恩多コート(朝・土) 6:00~9:00	5, 12, 19, 26		
(朝・日・祝) 6:00~8:00	6, 13, 20, 27, 21		

今月から早朝ができます。週末を有効に! 3月5,6日は変則です。12,13日は掘返し完了の前提です。(要注意)

### ☆☆第21回総会特集号☆☆

職名	恩多クラブ	萩山クラブ	青葉クラブ	美住クラブ	諏訪クラブ
会長	田中 誠	鶴丸 信	備間 進	鈴木裕一 齊藤勝之 里見洋子 田中道隆 松原秀樹	田畑 学
副会長	新沼則夫 岡林宏哲	藤田昭高 若坂保明 森田 護	萩野洋子 荒牧孝臣		小武海一喜 浜 良一 桜井宣行
会計	三原進子	中澤秀美	望月房子	河野宏子	小松恵子
広報	千田茂夫 荒木ゆきえ	山崎栄三 荒川弓子 村田英明	太田玲子 浜 敬子	大掛憲一 佐々木和彦	田辺 学 金丸アツ子
技術	川路俊一 田中 誠 中根 一夫 新沼則夫 木村 宏二 松井貞二 菊池 裕 武谷直也	米沢行夫 浅見耕司 坂井雅治 中澤考泰 小泉 誠 常広治彦 森田 護	藤岡信照 荒牧孝臣	本保俊昭 谷古宇勝美 高田 豊 飯川勇一 川田留美	今井 奨 桜井宣行 浅田元弘 黒岩俊雄 浜 良一 田畑 学 田畑麻夜
コート取り チーフ	A B C 岡林博子 秋庭エミ子	田中正子 上田俊夫 河口洋文	吉田チイ子 稲橋サカエ	卜部 薫 石橋健男 高田 豊	黒岩富美子 植草新一郎
テニス連盟 理事	山本 豊 武谷直也	河嶋和興	大武光子	平沢正憲	今井 奨
市民テニ事務局 会長		柳 利夫			
副会長	松井貞二 武谷直也				
事務局長	川路俊一				
技術部長 副部長	田中 誠		藤岡信照 荒牧孝臣		
広報部長 副部長				太田裕紀	黒岩俊雄
財政部長 副部長			田代雅晴 秋元良子		
事務局員		大川 濃	澤田正男	横井満子	佐藤忠夫
会計監査員				里見洋子	浜 良一

### 平成5年度事務局活動報告 (昨年の報告)

1. 運営委員会  
市民テの円滑な運営を目的とし、毎月第2日曜日に委員会を開きました。開催回数12回(平成5年3月~平成6年2月迄)

- 討議内容
- 1) テニスコートの効率的利用  
前提条件 'いつコートに行ってもテニスができる'  
①試合待ちの状況におけるロード採用時期の判断基準を設けました。  
②乱打、練習コートは昆雑の度合いを見ながら、技術部の協力を得て'球出し'をします。  
③コート情報を月ガットに掲載することにしました。

2) 運営委員会役員の選出方法  
事務局長、会計部長、広報部長及び事務局コート取り担当は各クラブ持ち回りとし、事務局次長および広報副部長はそれぞれ次期担当クラブより選出します。平成6年度の役員分担

恩多クラブ	萩山クラブ	青葉クラブ	諏訪クラブ	美住クラブ
事務局長	事務局次長	会計部長 会計副部長	広報部長	広報副部長 事務局コート取り

- 3) ナイターの運営方法  
下記内容の会員制でナイターを運営します。  
①年会費5000円(残金市民負担)  
②当日参加者(ビッチ)会費: 1日につき500円  
③コートの確保は市民テで行う。  
④練習ボールは市民テのボールを使う。  
⑤会計管理は運営委員会(会計部)が行う。



今月のテニスショップ『フジ』による  
用具指導日は、3月13日  
久米川コートで10時より行います。

4) 技術部の役割

下記内容を技術部の役割としました。

- ①定期練習：スクールの実施計画立案、実施、総括。
- ②臨時練習：市民大会期間中の外部コートでのスクール開催。
- ③中級者スクール：祝日を利用してスクールを開催。
- ④乱打コートでのボール出し（試行中）
- ⑤ボール管理
- ⑥イベント開催
- ⑦指導マニュアル作成
- ⑧外部指導者による講習会  
本井スクール（参加者募集、会場準備、受け付けなど）  
森川スクール（ボール出し研修会）



5) 外部指導者講習会

外部指導者講習会（森教室、本井教室）は東村山市及び市民テであるからこそ開催できる伝統的なものであり、市民テ会員テニス技術向上に必要です。カ  
従って、将来的にも両講習会は市民テが中心となり盛り上げ、存続させる努  
をします。受講者への補助金支出は継続します。

2. テニスコートの確保(平成5年1月～平成5年12月)

2.1 市営コート

コート	確保日数	利用日数	稼働率	確保時間	利用時間	稼働率	参加者数
久米川コート	94	76	81%	3284	2330	71%	3633(48)
夜間練習コート	34	29	85%	204	174	85%	477(16)
早期練習コート	105	85	81%	620	513	83%	1289(15)

但し、夜間練習期間は4月～11月迄

2.2 民間コートの利用(平成5年1月～平成5年12月)

- \* 利用日数 3日
- \* 利用時間 11時間
- \* コート利用面数 8面
- \* 参加人数 108人

秋の市民大会時に2日間、民間コートを借り練習会を開催する計画でしたが、練習  
会当日が雨だったり、予定日にコートの確保ができず計画は未達成となりました。  
年末年始の休みに各1日ずつ民間コートを利用して練習会を開催しました。

3. コートの環境整備

- 3.1 9月18日(土) 13時～14時30分迄 市民テ会員約50名で久米川コートの整備  
(草取り、テープの張り替え、金網の補修)を実施しました。
- 3.2 12月26日(日) 14時～15時迄 市民テ会員26名で久米川コートの清掃を実施  
すると共にニガリ38袋を散布しました。

4. テニス保険

平成6年も前年同様保険に加入しました。  
平成6年1月1日～同年12月31日迄 324名加入済み、  
大東京火災海上保険(株)  
保険料 421,200円  
(参考) 平成5年の保険利用状況 10件 受取金額 495,500円  
(保険料468,450円)

5. 新会募集員

会員数の現状維持を目標とし、50人程度の新会員を募集しました。  
新会員数 56名

6. 忘年会

諏訪クラブ担当で楽しい一年の締めくくりができました。  
開催日 平成5年12月4日(土) 於 スポーゼンク  
出席者 93名

平成5年度技術部活動報告



1. 定期練習

- 1) ジュニア、初心者、初級者を対象に定期的なレッスンを実施した。
- 2) レッソンはI期(1～3月、12回)、II期(6～8月、12回)、III期  
(11月～12月、4回)に分けて実施した。(合計28回計画)  
ジュニアはI期15回、II期18回、III期11回、合計44回計画した。
- 3) レッソン回数と実施率は次の通りである。  
初心、初級(前半)：I期9回、II期9回、III期4回、合計22回、  
実施率79%  
初心、初級(後半)：I期9回、II期10回、III期4回、合計23回、  
実施率82%  
ジュニア：I期13回、II期11回、III期11回、合計31回、実施率70%
- 4) レッソン受講希望者を事前に募集する登録制を採用した。1クラスの定員を  
25名とし、希望をもとに前半(9:00～10:30)と後半(10:45～12:15)  
に班分けした。希望者総数は141名であった。初級者クラスが定員オーバー  
となったため、やむなく23名に卒業していただいた。最終登録人数はジュニ  
アクラス(13名)、初心者クラス(前半27名、後半24名)、初級者クラ  
ス(前半26名、後半28名)。
- 5) 出席表を作り、年三呼した。受講者出席率は、ジュニアクラス56%、  
初心者クラス54%(前半52%、後半56%)、初級者クラス60%(前半  
57%、後半62%)、全体で57%であった。参加率はジュニア41%、初  
心48%、初級55%、全体で50%であった。
- 6) レッソン内容：目標を 試合ができるまで とし、カリキュラムに基づいて実  
施した。これにより、前、後半およびコーチの違いによるレッスン内容、進度

の偏りを極力小さくできた。初心者、初級者ともに基本ストロークに時間をか  
け、複合練習、試合形式の練習へと進んだ。各期の最終日に前、後半合同の練  
習試合を行なった(II期は雨のため中止)。マナーの普及にも配慮した。

- 7) ジュニア、初心、初級クラスに技術部員をそれぞれ3名、10名および11名  
割り振り、各々に責任者を設け、コーチの確保に努めた。しかし、途中で前、  
後半の調整が必要となり、一部の部員に移籍してもらった。
- 8) 春秋市民大会中にJSSのコートを確保してレッスンを行なった。4月18日、  
2面、2時間、23名参加。10月3日は雨のため中止となった。
- 9) 臨募生制度を利用した人は昨年よりも多く、好評と思われた。
- 10) I期の出席率が20%未満となった11名(初心5名、初級6名)には、各人  
に意志確認をして継続希望者には残ってもらった。II期の出席率が20%未満  
となった22名(初心11名、初級11名)のうち、初級のみ待機者の中の  
11名にIII期から参加してもらった。
- 11) 祝日を利用して中級者スクールを復活させた(4回計画、3回実施)。参加者  
は5月5日：11名、11月23日：26名、12月23日：15名であった。

2. 役割分担

- 1) 活動方針案に沿って、各部員がそれぞれの役割を分担して実行した。

3. ボール管理

- 1) ニューボール1680球とセットボール70球を購入し、ほぼ予定通り使用し  
た。予算消化率99%。
- 2) ダンロップSFニューボール44球を、フォート44球に交換してもらった。
- 3) ニューボール使用目標を設定し協力していただいた(1面につき、2個入缶に  
して早期1缶、午前1缶、午後2缶、ナイター1缶。各クラブ練習会3缶、  
合宿6缶)。
- 4) 平成6年へニューボール218球、セットボール多数を引き継いだ。

4. イベント

- 11月21日にイベント(団体戦)を企画したが、雨のため中止となった。

5. 外部指導者によるレッスン

- 1) 10月11日(祝)、12:00～14:00、JSS森川コートによる技術部員対象  
のレッスンに部員18名が参加した。今回は初心者に対する各ショットやコン  
ビネーションの教え方、練習パターンなどの指導を受けた。スクールに活かし  
ている。
- 2) 技術部主催による中級者、指導者対象の本井スクール(コーチ：本井清氏、柴  
田利男氏、)は、'94 1月29、30および代替の2月12、13とも  
は雪のため延期となった。(再定3月5日、3月26日を予定)

6. マニュアル委員会による Instructors' manual 作成

昨年に引き続きマニュアル委員会を中心として、スクールのコーチとしての心  
構えや、指導する際に配慮すること、ボール出しのコツ、各ショットのキーポ  
イント、練習パターン、プログラムなどを盛り込んだマニュアル作りを継続し  
た。平成5年12月、指導者の心得、キーポイント集、年間カリキュラムなど  
を含む第1版を作成し、部員に配布してレッスンに活用している。今後さらに  
完成度を高める。

7. その他

- 1) ボール出し方法と技術力の向上を目的として、技術部合宿を9月11(土)、  
12(日)に忍野村で実施した。12名参加。
- 2) 厚生省テニス部との親善試合を11月27日(土)に清瀬市で行なった。15  
名参加。
- 3) 試合待ちの人が多き時は、練習コート(1番コート)でのボール出しを試行し  
てコートの有効利用をはかった。参加者多数。

平成5年度の活動報告



(1) ガットの編集・配付について

'93/3月号～'94/2月号のガットまでを広報部員  
の方々に力を合わせて編集発行をしてまいりました。  
相変わらず誤字や脱字、はたまた記載内容に勘違いやミス  
などがあり、会員の皆様には何かとご迷惑をお掛けいたしま  
した。

『ガット』の紙面については、毎月の運営委員会ニュー  
スを中心に『私とテニス』を毎月掲載するとともに春・秋の大  
会報告、柏崎との交流試合、団体戦などにおける市民テの面  
面の活躍は、洩らすことなく載せてきました。

10月1日号の『ガット』が、通算200号に到達したこ  
とを記念し、4ページの特集号として太田名誉会長や柳会長  
並びに佐藤前広報部長さんよりの記事と載せるとともに、第  
1号の『ガット』創刊号の1面を縮小のうえ掲載した。

会員の方へのお届けにあたり、住所変更などの面につい  
ては各クラブの会長さん方のご協力もいただきながら迅速に対  
応し、月初めの土曜日までにお手元に配達することが出来た  
ことが毎年の事とはいえ良かったと思っています。

広報部会については、春先と真夏の2回、部員の交流を兼ねて開催しましたが、気心などもよく判り『ガット』の編集のうで参考になったものと思います。  
 毎年のことではございますが、『私とテニス』に原稿を寄せていただいた方、各種イベントなどの際にその報告文などでご協力をいただいた方々にあらためてお礼を申し上げます  
 『広報部員』各位におかれましては、大変お忙しいところにもかかわらず、我々市民テの発展に重要な役割をはたしてきてきた『ガット』の継続的で定期的な発行に心をつくしていただきまして、本当にありがとうございました。

93	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	94	1	2
名前	黒岩	永井	千田	浜	太田	斉藤	豊山	荒川	荒木	庄司	名久井	山崎	
クラブ名	諏訪	諏訪	恩多	青葉	青葉	諏訪	萩山	萩山	恩多	美住	美住	萩山	

### ②事業積立金特別会計

収支報告 (平成5年1月~平成5年12月 単位:円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
		一般会計移入収入	100,000
小計	0	小計	100,000
次期繰越金	100,000		
合計	100,000	合計	100,000

## 平成5年度会計監査報告

平成5年度決算報告に対し会計監査の結果、収支・帳簿等に相違ない事を認めます。

平成 6年 2月12日

会計監査 河嶋 和興  
 里見 洋子

東村山市民テニスクラブ協議会

協議会会長 柳 利夫  
 財政部 浜 良一  
 新沼美智代

## 平成5年度会計決算報告

### 【収入の部】

(平成5年1月1日~平成5年12月31日 単位:円)

科目	平成5年度予算	平成5年度決算	摘要
前期繰り越し	689,603	689,603	
年会費	3,919,200	3,919,200	359名 本代1,000
雑収入	11,197	21,474	普通5,384 忘年会剰余金15,090
合計	4,620,000	4,630,277	

### 【支出の部】

科目	平成5年度予算	平成5年度決算	摘要
コート代	1,480,000	1,167,410	市営コート1,057,200 民間コート 110,210
ボール代	530,000	524,768	DF 1750 球 (NEW1680, SET70)
団体加盟費	40,000	40,000	市テニス連盟(8,000 × 5クラブ)
会議費	100,000	98,300	運営委員会・各専門部会
保険料	467,210	467,210	01,350 × 346(一般・職員) 手数料0110
技術向上費	200,000	143,000	外部特別講習会2回
技術部費	180,000	159,014	技術部講習会, スクール運営費用, 部会等
親睦費	100,000	100,000	忘年会100,000
事務局費	170,000	153,875	会員名簿, 事務諸経費他
広報費	440,000	444,743	ガット印刷費, 郵送費
各クラブ運営費	699,500	699,500	固定費200,000 変動費499,500
事業積立金	100,000	100,000	30周年記念誌発行費
予備費	113,290	0	
小計(実質支出)	4,620,000	4,097,820	
次期繰越金		532,457	
合計	4,620,000	4,630,277	

平成5年度収支決算 △689,603 △157,146 (繰越金取崩し額)

○平成5年市民テ忘年会の剰余金15,090円は、雑収入へ繰入れました。  
 ○差引残高 532,457円は平成6年度へ繰越しとなります。

収支報告 (平成5年1月~平成5年12月 単位:円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
使途が未決のため特別会計として計上し、保管		20周年記念誌剰余	126,104
		受取り利息	1,722
小計	0	小計	127,826
次期繰越金	127,826		
合計	127,826	合計	127,826

### ①20周年記念行事特別会計

今年の活動計画  
 平成6年度事務局活動計画

- 基本方針
  - 運営委員会を毎月第2日曜に開催し、市民テを円滑に運営するためのアイデアを出し合います。
  - 市営コートの確保を確実にいきます。
    - 昼間練習コート(久米川コート) 1月~12月迄の土、日、祝祭日
    - 早期練習コート(恩多コート) 3月~11月迄の土、日、祝祭日
    - 夜間練習コート(恩多コート) 4月~11月迄の水曜日  
但し、祝祭日と水曜が重なる日はコートの確保をしません。
  - 民間コートは春、秋の市民大会時に於ける代替コートとして確保します。他の目的のための利用については、市営コートの振替状況に応じて流動的に対応します。
  - テニスコートの増設、久米川コートの年末年始開放を行政に働きかけます。
- テニスコートの環境整備  
テニスコートの補修等環境整備に努力し、行政に対して働きかけます。
- テニスコートの効率的利用  
テニスコートの混雑緩和のための努力を継続します。  
5. 忘年会は恩多クラブ主催で行ないます。
- イベント  
イベントを技術部と共同で実行します。

### 平成6年度技術部活動計画

- 定期練習
  - ジュニア、初心者、初級者を対象に定期的にレッスンを実施する。
  - レッスン受講希望者を事前に募集する登録制を採用する。
  - レッスンはI期(1~3月)とII期(6~8月および11月~12月)に分けて行ない、初心者クラスと初級者クラスを前半(9:00~10:30)と後半(10:45~12:15)の2班に分ける。ジュニアは9:00~10:30。すでに班分けが終了しており、各クラス、各班の人数は次のとおりである。  
 初心者前半: 24名、同後半: 19名  
 初級者前半: 30名、同後半: 27名  
 ジュニア: 15名
  - コートは原則的に各班とも1面とする。
  - 登録できなかった会員も各班の出席者が少ない日には、その班のコーチの判断で、その日に限ってレッスンを受けられるようにする(認講生制度)。
  - レッスンは昨年に準じ、年間カリキュラムに基いて実施するが、必要に応じて改めて行く。
  - 春秋市民大会中に民間コートが確保できれば、レッスンを行なう。
  - レッスン毎に出席を取り、各期の終わりに集計する。
  - 祝日(3月21日、5月5日、11月23日、12月23日、1月16日)の午前中を利用して中級者レッスンを行なう。時間は10:00~12:00、使用コートは2面、対象者はスクール生以外全員。

2. 役割分担

1) 技術部各役員は次の通りとしたい。

- 部長：藤岡
- 副部長：荒牧、田中
- スクール責任者：荒牧（前半）、田中（後半）、中澤（ジュニア）
- ボール係：木村、坂井
- イベント係：桜井、小泉
- マニュアル委員会：浅見（委員長）、藤岡、荒牧、田中、松井、今井

3. ボール管理

- 1) 昨年同様、ニューボール使用目標を設定する（1面につき、2個入缶にして早朝1缶、午前1缶、午後2缶、ナイター1缶。各クラブ練習会3缶、合宿6缶）。
- 2) 練習ボールを常時7筒用意する。

4. イベント

年1~2回のイベントを企画し、運営委員会と共同で実行する。

5. 外部指導者によるレッスン

- 1) 一般会員を対象とした講習会を開催する。
- 2) 技術部員を対象とした、指導方法に関する講習会を開催する。

6. Instructors' manual

平成5年12月に作成した第1版に練習パターンなどを盛り込むべく作業を継続する。

7. その他

- 1) 技術部員の指導力アップのため、合宿、対外親善試合などを行なう。
- 2) テニス技術書の管理を行なう。
- 3) 試合待ちの人が多い時は、練習コート（1番コート）でのボール出しを行なう。

平成6年度の活動計画

ガットの編集・配付について

新しく各クラブより送り出されていた広報部員の方々の、役割分担を早急に確立し、『ガット』の編集作業にかかりたいと思います。

広報部会については、(スモールコートにもガットを置いて) 役立てます。94/3~4月、94/8月、95/1月の適当な日取りを決めて開催していきたい。

編集方法や『私とテニス』の取材方法など『ガット』作成のマニュアルに基づきすすめて、所定の期日をきちんと守れるよう努力致します。

なにぶんにも『ガット』には、会員の皆さんの声をたくさん載せることで、生き生きした紙面作りが出来るようになりますので、あらためて皆様のご協力をお願い申し上げます。

なお、本年1月24日以後、郵便料金が30%近い値上げとなっているため、部員間の連絡や印刷会社との連絡のみならず、会員あての郵送費など合計で7万円弱の負担増となります。

費用軽減方法について検討し、出来るだけ負担の少ないやりかたがあれば(確実に会員に月初めに届くという条件で)採用し、経費節減につとめたい。

なお、これについては広報部で検討し、可能であれば試案を作成し、運営委員会に図り決定をいただいたのちすすめる所存である。

東村山市民テニス協議会

平成6年2月20日

平成6年度予算

事務局



【収入の部】

(平成6年1月1日~平成6年12月31日 単位:円)

科 目	予 算	摘 要
前期繰り越し	532,457	
年会費	5,074,000	344名(6年度会員数及び収入表参照)
ナイター会費	100,000	
雑収入	3,543	普通利息
合 計	5,710,000	

【支出の部】

科 目	予 算	摘 要
コート代	1,480,000	コート使用料(民間コートの使用は市営コートの振替え状況に応じて流動的に対応する)
ボール代	600,000	前年度並み
団体加盟費	40,000	5クラブ×8,000
会議費	100,000	運営委員会、各専門部会
保険料	421,200	01,300×324名(一般・家族・家J)
技術向上費	300,000	外部特別講習会(テニス連盟・協議会主催)
技術部費	200,000	技術部主催イベント、スクール運営費用
親睦費	150,000	忘年会(恩多主催)、柏崎戦参加補助
事務局費	170,000	会員名簿、事務諸経費等
広報費	520,000	ガット印刷費、郵送費
各クラブ運営費	1,062,000	固定費 300,000円、変動費 462,000円 特別調整運営費 300,000円
事業積立金	100,000	30周年記念誌発行費
小 計	5,143,200	
予 備 費	566,800	
合 計	5,710,000	

各クラブ運営費(変動費)の内訳

	人数(世・歳)	金額(人数×01,500)
恩多	54	81,000円
萩山	63	94,500円
青葉	65	97,500円
美住	76	114,000円
諏訪	50	75,000円
合計	308	462,000円



平成6年度前期会員数及び収入表

	平成6年1月1日現在					合 計
	新会員 (3,000)	一 般 (17,000)	家 族 (11,000)	家 J (6,000)	休 会 (2,000)	
恩多クラブ	13	40	14	3	8	65
萩山クラブ	13	48	15	5	5	73
青葉クラブ	8	48	17	0	3	68
美住クラブ	13	60	16	2	3	81
諏訪クラブ	9	35	15	5	2	57
合 計	56	231	77	15	21	344
	168,000	3,927,000	847,000	90,000	42,000	5,074,000

(6年度会員数) 344名  
(会費収入) 5,074,000円

【参考平成5年度】

59	250	83	13	13	359
118,000	3,000,000	697,200	78,000	26,000	3,919,200

【参考平成4年度】

46	226	88	7	23	344
92,000	2,712,000	739,200	42,000	46,000	3,631,200

編 集 後 記

『市民テ』第21回総会特集として、各部門の'93報告と'94の活動計画が承認されましたので、掲載致しました。

各クラブの役員の方、新入会員の方などの面々が出席し、活発なご意見を寄せられました。当日の運営には議長に山崎(萩山)田中(恩多)氏を選出して行いました。

総会参加の皆さん本当に御苦勞様でした。本号では議案の中で訂正等を掲載しましたが、スペースの都合もあり討論の要点は次号にさせていただきます。

各クラブの活性化と天候に恵まれて、今年こそ思う存分テニスが出来ますよう。予算面でも充分バックアップしています。(K.T)